



府中二中だより

令和5年度 「学びと思いやり」
スローガン 真心 真剣 真理

令和5年度
3月15日発行
令和6年3月号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

「五感」の安定は「心」の安定

皆さんは、毎日の暮らしに彩りを添える「五感」を磨くという発想をしたことはありますか？五感とは、見るは「視覚」、聴くは「聴覚」、嗅ぐは「嗅覚」、味わうは「味覚」、触るは「触覚」のことです。私たちはこのような手段で常に外界からの情報を得て生活しています。時には他者とコミュニケーションをはかるために、五感を全開にしています。私たちは普段あまり意識せずにこれらの感覚器を使って生活をしています。だから毎年、健康診断で検査をして異常がないか、何か病気にかかっているかを確認するわけです。生きていく上で大事な五感ですが、最近ちょっと不安になるような状況も出てきています。

スマホやテレビなどを見続ける人が増え、目を使いすぎて、疲れ目や視力低下に悩む人が増えています。情報の80%を視覚から取り入れているといわれ、視覚は五感の中で最も行動に影響を与えている感覚です。

普段、耳と呼んでいる顔の外側の部分は、外耳と呼ばれる耳の一部です。耳の構造は非常に複雑かつ繊細で、空気の振動を鼓膜などの中耳、さらに奥の内耳へと伝えることで音を認識しています。耳は平衡感覚（バランス）などもつかさどっています。最近はイヤホンの使い過ぎで耳に異常を感じる人が増えています。

鼻の中には感覚受容体というセンサーがあり、空気中のおい分子と結合し、脳に信号を伝えてにおいの感覚が生まれます。人間は何と1万種類ものにおいを嗅ぎ分けることができると言われています。最近は花粉症などで鼻炎の人が多く、鼻に異常を感じる人が少なくありません。

舌には甘味・塩味・酸味・苦味・旨味の5つの味を感じる味覚があります。本来、食べ物に害がないかを判断するための機能です。コロナウイルスはこの味覚に異常をもたらすとして、大きな話題になりました。その後遺症で悩む人も多くいると聞きます。

全身を覆う皮膚には、触れた感覚を感じる触覚をはじめ、痛みを感じる痛覚、温度を感じる温覚などの神経が満ちています。特に手には神経が密集しています。乾燥肌や多汗症で悩む人も多いようです。目で見て、耳で聞いて、鼻で嗅いだものを手で触って確認することで多くの学びの助けになっています。

これら5つの感覚器に磨きをかけ、働きを高めることは、心身の健康を維持・向上する秘訣でもあり、人生を豊かに過ごすための基本的なことといえます。スマホやイヤホンなど、知らないうちに感覚器にダメージを与え、気付いた時には正常な働きができない状況にもなる…それだけは避けてください。



卒業式予行 2年生から3年生へ

自分を大事にすることは、五感を大事にすることです。五感の安定は心の安定です。遠くを見たり、優しい音楽を聴いたり、良いにおいを嗅いだり、美味しいものを食べたり、肌で様々なものを感じたりして、日々、心豊かに過ごしていきましょう。残り少ない今の学年での学校生活。思い出に残るよう日々充実して過ごしてください。
(全校朝会 3月14日)

保護者会(3月8日)より

今日の保護者会では、4月から始まる新年度の本校教育活動の重点について、お話をさせていただきます。

さて、視野を世界に広げてみたときに、予測不可能といわれる状況がさらに深刻になっていると思われます。ウクライナとロシアの戦争、イスラエルのガザ地区への攻撃をはじめ、地域紛争が数多く発生しており、物価高騰や環境破壊のありを受けています。また、地球温暖化が進み、季節感が従来と変化し、様々な分野で今までの時代との変化を痛感しています。今年はかなりの暖冬で、あるスキー場では1度も営業しないまま今シーズンを終えたそうです。また今年の夏は、今年と同じような猛暑になるとの予測も出ています。このような世界的な課題や身近な困難さに対し、これから生き抜いていく子供たちに必要な力とはどのようなものでしょうか。

もちろん学力をつけることは大切ではありますが、それは点数的な学力だけではなく、生きた学力をつけることが大事になっています。学力観も時代とともに変化しています。現行の学習指導要領での知識・技能は、知識をつなぎ合わせ活用し、生きるために必要な知識へと変化させる。そのために、ICTを活用したり、複数以上で協働・対話したりする「集合知」が求められています。自立や自発とあって、一人で黙々と勉強する時代ではなく、コミュニケーションを大事にして、視野を広くもち、困難な状況でもしなやかにたくましく乗り越えていける力が必要になっています。

そこで府中二中としても、まずは「生き方」を問うテーマを設定していきたいと考えています。行事自体は従来通りのものではありませんが、1年生は自分から他者、2年生は他者から社会、3年生は社会を意識して自分の進路を力強く切り拓いていくことを重点にして、各学年の取組を充実させたいと思います。また、日頃の何気ない行動が、SDGSにつながっているとの意識をもたせ、「府中二中SDGs」として、①あいさつ ②学習 ③給食 ④掃除 ⑤エコ ⑥友人を充実させることが、地球環境にも大きな影響を与えていることを自覚させたいと考えています。生活習慣を整え、自分の最高最大の実力が発揮できるような状況を作り出す、そのためには大人が総がかりになって、子供の健全育成に責任をもつ姿勢が重要だと考えます。学校にとか、家庭にとか、責任を押し付け合っても解決にはつながりません。

年頭に能登半島地震があり、未だ多くの方が避難を続けています。しかし明るいニュースとして、たくさんの若者ボランティアが活躍し、高齢者のお宅などの後片付けを手伝う映像が多く流れました。二中でも地域の方々が催す行事がたくさんあります。「府二ボラ」という組織を構築し、生徒ボランティアを運営する取組も考えています。また、学校では生徒への教育活動として、たくさんの講師を招いて生きるために必要な知識を講義してもらう機会を作っています。そこに地域や保護者も参加し、子供との対話ツールができればと考えています。題して「オトナの学び」です。新年度に予定を配布したいと思います。

21世紀に入り、100年の4分の1が過ぎようとしています。世界はなかなか希望が見いだせない状況だといえます。だからこそ、子供たちの未来を輝かせていく努力が大人の側に求められていると思われます。一致協力して未来を見据えていきましょう。



職業人ワークショップ(1年生)